

MF 通信

2016年10月発行

リーグ 特集号

④

2016年10月22日〔土曜日〕

福岡教育大戦直前特集

準備万端。

初勝利に向け全てをぶつける。

10月2日(日)熊本県民総合運動公園にて行われた試合は2対3で福岡大学が勝利した。3戦を終えていまだ勝ち星のない久留米大学であるが、選手の表情は明るい。勝つしかない。負けて沈んでも何も生まれないというポジティブな気持ちの現われであらうか。何か大きいことをやってくれるだろうと期待せずにはいられないMean Fightersに注目だ。



福島 和也 (QB) × 田島 翔太 (LB)

四回生 OF リーダー

三回生 DF リーダー

重責担うリーダー対談

久留米大学のリーダー職(キャプテン・副キャプテン・OFリーダー・DFリーダー)は投票によって決められる。OFリーダー福島はQBというプレッシャーを背負いながらも常に周りを気にかけて、OFを背中で引っ張る。DFリーダー田島は三回生でありながら実力を認められ、上級生に對しても臆する事無くチームを鼓舞している。二人はほぼ満票の支持を得てリーダーとなり、チームの信頼は厚い。厳しい戦いが続く今期であるが、現在の二人のリーダーとしての思いを取材した。

Q: オフェンススローガンは「魅力」、ディフェンススローガンは「Charing The Ist」との事ですが、そのスローガンの由来を教えてください。

福島「オフェンスの良さを応援して下さる方やプレーヤーに伝えたいという思い、魅力とさせていたかったです。華やかな部分だけではなく、泥だらけにひたむきにプレーすることで魅力的なおフェンスが作れるし、プレーヤーにも伝わると思いました。」

田島「昨年のディフェンスはプレーや行動において保守的だったので、挑戦することによって意識の変革を求めました。また何事もチャレンジをする事で新たな課題が見えてきますし、ディフェンスの強化になると思ったからです。」

Q: 今年のオフェンス・ディフェンスの特徴を教えてください。

福島「パスについてはWR陣が豊富なのでミドルパスを中心にオフェンスを組み立てています。ランについてもライオンのブロックを信じ、RBが粘り強くボールを進めています。」

田島「能力のある選手が少ないので、とにかく全員がボールに集まる事を徹底してやっています。ボールキャリアーを掴んだら離さない、ボールを狙うなど当たり前の事を徹底してやるよ

う心がけています。」

Q: 最後に福岡教育大に向けて意気込みをお願いします。

福島「得点を意識したプレーを見て欲しいです。敵陣に入れば得点に結ぶこと、前回反省のボールセキュリティーとパスの精度を徹底します。今年はまだ納得のいく結果は残せていませんが、必ず勝利に導けるよう頑張ります。」

田島「個人的にはタックルに注目して下さい。流れを呼び込むタックルをすることでチームの士気を上げ、ビッグプレーを呼び起こすようにしたいです。」

久留米大学が入れ替え戦を回避する為には、①福岡教育大に勝利し、最終戦の西南学院大学に勝利する事、②福岡教育大に10点差以上をつけて勝利する事。①か②のいずれかの要件を満たす事が条件となる。

リーダーの役割である「チームを牽引する」事が勝利の条件になるであろう。苦境の中で真価を発揮できるか。二人のリーダーに注目だ。

次戦のみどころ

福岡教育大は試合を重ねるごとに力をつけている。自慢のインサイドのランプレーはコンスタントに3ヤード以上を稼ぐことが出来るためディフェンスは早い段階で封じこめ、パスの展開にもっていきたい。またディフェンスについても3試合で平均17失点と安定感がある。久留米大は先制することでペースを掴み、終始リードを保ちたい。両校の入れ替え戦回避の可能性を残している為、激闘必死の試合になるであろう。

秋季リーグ第三節の結果

10月2日(日) @熊本県民総合運動公園
福岡教育大(1勝2敗) ○17対0 ●琉球大学(1勝2敗)
西南大学(3勝0敗) ○10対7 ●九州大学(1勝2敗)
久留米大学(0勝3敗) ●2対36 ○福岡大学(3勝0敗)